

日本機械学会
2019年度
年次大会

次は秋田だ!



機械学会さ!

—秋田に集うしっかげおもしろ技術—



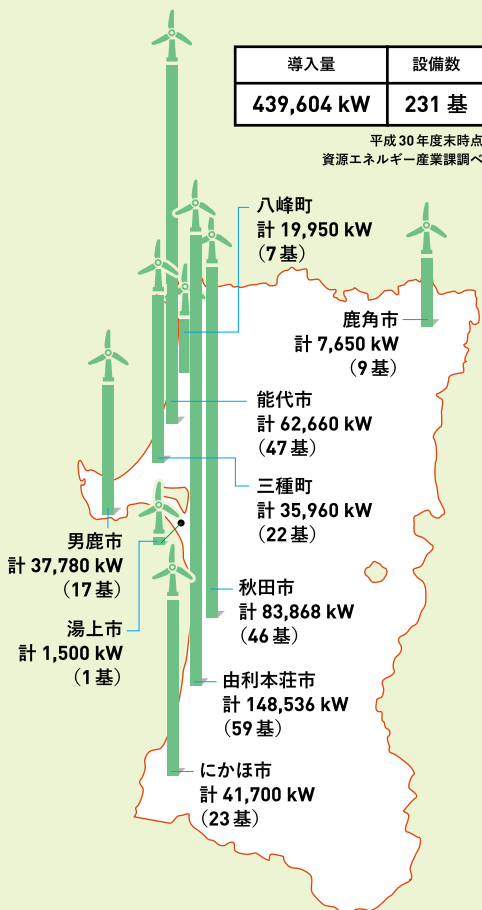
大会テーマ

「サステナビリティ」「AI 社会の機械工学」
「少子高齢化・人手不足を支えるテクノロジー」

🐾 開催日 🐾 2019年9月8日(日)～11日(水)
🐾 開催場所 🐾 秋田大学 手形キャンパス

🐾「秋田の産業 その3」新エネルギー関連産業🐾

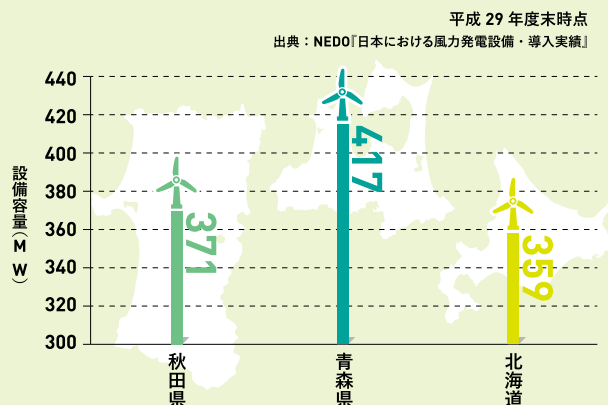
秋田県では、新エネルギー関連産業の成長を新たなリーディング産業創出の機会と捉え、「秋田県新エネルギー産業戦略」を策定し、再生可能エネルギーの導入拡大及び関連産業の振興などに向けた取り組みを実施しております。今回は、豊富な自然エネルギーを活用した「本県ならではの産業」である再生可能エネルギーの導入状況と、関連産業であるメンテナンスなどの人材育成プロジェクトについて紹介します。



◇再生可能エネルギーの導入状況

①陸上風力発電の導入状況

風力発電については、沿岸部の風況に恵まれた適地を中心に建設が進み、導入量は約371 MWと青森県に次ぐ全国2位(平成29年度末時点)となっています。その後、平成30年度末には約439 MWまで増加しています。さらに、県有保安林における県公募案件などの新規建設が多数進行中であり、今後も順調に導入拡大が進む見込みです。



②洋上風力発電の導入促進

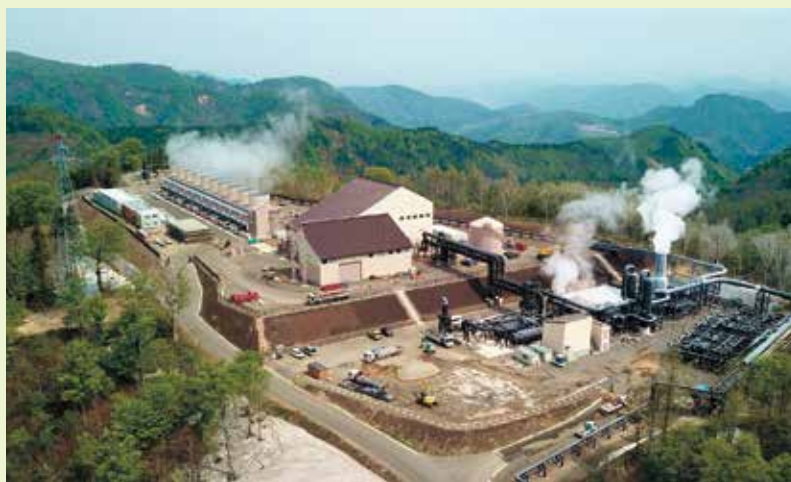
秋田県では、港湾区域における洋上風力発電の導入を目指し、秋田港と能代港において、平成26年度に発電事業者を公募により選定しました。現在、令和4年の運転開始に向け、事業が進められています。



洋上風力発電(港湾区域)イメージ

③地熱発電の導入状況

秋田県内には、鹿角市と湯沢市に計4箇所の地熱発電所があります。2019年5月、湯沢市の山葵沢地熱発電所(46,199kW)が運転開始し、総出力134,499kWで「全国第2位」となりました。



山葵沢地熱発電所 生産基地・発電所敷地遠景
(令和元年5月14日撮影)湯沢地熱株式会社 提供

◇風車メンテナンスに係る人材育成プロジェクト



- ・大学や技術専門学校における、研修所での実技を含めたセミナーの開催
- ・各企業が実施する研修への補助(メンテナンス技術者の養成に向けた研修、風車メーカーライセンス等の取得を目指す研修など)
- 長期的に安定した人材の輩出、メンテナンス産業の育成のため、関係機関が連携して取り組んでいます。

新エネルギー関連産業の振興についての詳細は、下記までお問合せください。

お問合せ先: 秋田県産業労働部 資源エネルギー産業課 新エネルギー産業班

TEL: 018-860-2281 FAX: 018-860-3869

E-mail: shigen-ene@pref.akita.lg.jp

次は秋田だ!

プログラムを公開しました!

年次大会のプログラムを公開しました。1,100件を超える一般講演、特別講演、理事会企画OS、先端技術フォーラム、企業セッション、市民フォーラム、学生交流会など、多数の企画が開催されます。生の情報が味わえ、実際に交流できる場所ですので、お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。



<https://www.jsme.or.jp/conference/nenji2019/doc/07program.html>
事前参加登録も同サイトにて受付中です(登録締切 8/19)。



特別講演 2019年9月10日(火) 15:00 - 17:00

米国アカデミー Foreign Member でもある 企業トップが語るイノベーションの本質

「イノベーション:風が吹けば桶屋が儲かる」

(株)豊田中央研究所 代表取締役所長 菊池 昇



<概要>

研究においても産官学でイノベーションが求められるようになって久しい。とはいっても社会に受容されるイノベーションにつながる研究は難しい。この難題に米国の大学で研究していた時も、また日本の大きな企業研究所のマネジメントをやっている今も取り組んでいるが、未だ成功したことがない。ここでは、失敗に終わった多くの研究を振り返りながら、イノベーションに繋がる可能性がある研究はどのようなモノかについて、自動車業界にまつわる機械工学に関する領域を中心に述べたい。

東大卒、元フリージャーナリストの 老舗 8代目当主が語る 酒と秋田の魅力

「吟醸酒のふるさと秋田の魅力を探る」

新政酒造(株) 代表取締役社長 佐藤 祐輔



<概要>

広大な平野と良質な水、そして寒造りに適した気候に恵まれた秋田は、まさに酒造りの聖地である。現在の日本酒の基本的製法である「吟醸造り」は、秋田にて完成された手法と言える。「吟醸造り」は、清酒酵母の発見によって完成されたと言えるが、その中でも秋田の新政酒造において90年前に発見された「きょうかい6号酵母」によって低温発酵が可能になったことは、特に大きな技術的躍進であった。本講演では、秋田の日本酒に関する歴史的な背景を紹介しながら、秋田の酒の魅力や嗜み方を紹介する。

年次大会の“新たな試み”

チュートリアル「機械技術を変えるデータサイエンスのインパクト」

本年次大会の大会テーマのひとつ「AI 社会の機械工学」に関連する先端事例を聴いてみませんか?!
年次大会参加登録者は格安で聴講できます。年次大会参加登録サイトからお申込み下さい。

日 時：2019年9月8日(日) 13:00 - 18:10
定 員：60名(会員資格不問) 先着順
聴 講 料：3,000円(年次大会参加登録者)、20,000円(非登録者)
詳しくは URL : <https://www.jsme.or.jp/conference/nenji2019/index.html>

ランチョンセミナーと企業セッション「AI Tech Talk」

各企業における技術開発の状況を技術者が語る!

◇ランチョンセミナー「学生向け若手技術者ランチョン講演」
日 時：2019年9月9日(月) - 11日(水)の毎日 12:10 - 13:00
定 員：60名(学生のみ、会員資格不問) 当日、総合受付にて申込み(先着順)
参加企業(予定)：(株)WELCON / JFE エンジニアリング(株) / 住友化学(株) / 住友金属鉱山(株) / 住友重機械工業(株) / DMG 森精機(株) / 三菱製鋼(株) ほか



理事会企画オーガナイズドセッション (OS) 附帯特別企画

年次大会としては初めて、理事会企画のオーガナイズドセッションを二つ設定しました。
その各 OS が以下の特別行事を企画しました。

◇ J401 「機械・インフラの健全性評価」
附帯パネルディスカッション「機械・インフラの健全性評価、その現状と展望」

日 時：2019年9月10日(火) 13:00 - 14:40
総合司会：井原 郁夫(長岡技術科学大学)
パネリスト：司会・コーディネーター 井上 裕嗣(東京工業大学)
木村 嘉富(国土交通省)、永井 浩昭(三菱ケミカル)、永井 浩昭(東京電力ホールディングス)、
牧野 一成(鉄道総合技術研究所)、近藤 浩一(東芝インフラシステムズ)

◇ S401 「少子高齢化社会を支えるテクノロジーの提案」
附帯基調講演「超高密度メディア情報を用いた情報環境医療の開発」

日 時：2019年9月10日(火) 13:00 - 13:45
講 師：本田 学(国立精神・神経医療研究センター 部長)

電子情報通信学会との合同企画：先端技術フォーラム「5G・IoT時代のキカイ」

IoTの進展と次世代通信方式 5G で機械がどのように変わっていくか、
通信の専門家とともに考える!

日時：2019年9月9日(月) 13:30 - 16:30
司会・コーディネーター：松日楽 信人(芝浦工業大学)
基調講演：「移動通信の未来」大槻 知明(慶應義塾大学)
講師・パネリスト：新熊 亮一(京都大学)、羽田 靖史(工学院大学)、板谷 聡子(情報通信研究機構)、
安藤 知治(オークマ)、森野 博章(芝浦工業大学)、綿貫 啓一(埼玉大学)

